

子どもの自立・就職に向けて  
親ができることを一緒に考えてみませんか？

参加無料

# ～保護者セミナー～

開催日時

## 12月16日(土)

時間：13:30～16:00

会場：福井県社会福祉センター（福井市光陽2-3-22）



講師：若狭ものづくり美学舎 代表  
長谷 光城（ながたに みつしろ）氏

テーマ：「人の育ちから考える」

内容：講師によるセミナー・意見交換ほか

対象：無職のお子さんを持つご家族の方

定員：20名

（事前にサポステふくいまで申し込み下さい）

### 【講師紹介】

1943年旧満州牡丹江で生まれる。多摩美術大学卒業後、1967年に美術教師として勤務。県立美方高校校長、県教育審議監をつとめ、2004年に退職。在職中、気がかりだった引きこもりの子どもの存在から、06年、不登校の児童生徒等を対象に、美術文化の体験を中心とした複合教育施設「若狭ものづくり美学舎」を若狭町に開校。自然体験などで自分を見つめて「生き直し」をするきっかけとして学びの場を提供している。絵画、美術を通した子どもや障がい者支援は定評。生徒と向き合う傍ら、現代美術作家としても活躍している。

受賞 福井県政功労者表彰、福井県文化賞、瑞宝小綬章など。若狭町在住。



## 日時：平成29年10月21日(土) 10月開催のセミナーレポート

テーマ：「ポジティブ感情の役割と前向きになるワークショップ」

講師：金沢工業大学心理科学研究所 所長 塩谷 亨 教授

セミナーでは、まず、今の自身の幸福度を知るために、皆さんに簡単な心理検査を受けてもらいました。夢になることや他人との関係などポジティブ感情がどれくらいあるかを数値化し、今の自分の状態を知る参考としました。検査項目には、悲しみなどのネガティブ感情や孤独感などの項目もありますが、先生は、このマイナス要因は必ずしも否定されるものではなく、ポジティブ感情が視野を広げる一方、ネガティブ感情は注意力を高め、命の危険を回避する力を備えるなど、人間が生きていく中で大切な役割を果たすものであることを、説明されました。

一般的に、人はできないことやダメな事に目が行きがちですが、今日1日よかったと思えることを振り返ってもらおうと、「朝早く起きて新鮮な野菜を収穫できた」、「快晴で気持ちよかった」など案外みつかります。そして、「よいこと」に注目する習慣ができると、ポジティブ感情が芽生え、ネガティブなことに対しても楽観的な考えで対処できるなど好循環を生み出します。実際に今回のワークを体験した参加者からは、「今日1日のいいこと探し」が家庭でも実践でき、よい効果を得られるそうだとの意見がありました。

サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

ふくい若者サポートステーション（サポステふくい）

福井市光陽2丁目3-22 TEL：0776-21-0311

（受付時間 月～金 9:00～17:00） E-mail: info@fukui-yss.com